

●本年度、新規Q & Aの質問および回答の概要（29個のうち11個）

【2. 組織と運営】

Q26 部活動をサポートしている総合型クラブはありますか？

大分県野津原町（現在、大分市）に誕生したNスポーツクラブでは、学校と地域がスクラムを組むことで、生徒はもちろん、住民、学校、教職員、部活動、顧問、総合型クラブ、地域などそれぞれに、様々な成果が得られています。（黒須 充）

【3. 人材と育成】

Q14 過疎地で人も若者も少なく、かかわる人材をどうしたらよいですか？

過疎地での人材確保については、スポーツの枠や地域の枠を超えたクラブづくりを考え、地域内から地域外へ視点を外に開くことや、人材が活動しやすい環境をいかに整えることができるかが大切になります。（伊達 東）

Q15 文化活動などの指導者は、どのように探せばいいのでしょうか？

まずは、広報誌やホームページなどを通じて会員から口コミ情報をもらう、次に、行政の生涯学習課や社会教育関連の部署に聞くのがいいでしょう。それでも、見つからない場合は、近くのカルチャースクールなどに講師派遣依頼をする方法もあります。（松田雅彦）

【4. 活動場所と施設】

Q9 指定管理者制度は、活動場所の確保に役立ちますか？

「指定管理者制度」は公の施設を民間が維持管理し、そこで事業活動を行うことができるという制度です。クラブでは収入や活動場所の確保への期待もあるようですが、指定管理者制度とクラブの目的とを照らし合わせて参入を検討する必要があります。（谷塚 哲）

【6. 広報とPR】

Q9 わかりやすい説明やプレゼンテーションの秘訣は？

総合型クラブを育成し、その活動を拡げていこうとする時、地域の様々な関係者に対して説明を行わなければなりません。となると、相手を十分に調べる、言いたい事は1つか2つにまとめるなど、その技術も重要となります。（南木恵一）

【7. 財源と財務】

Q6 指導者謝金はどのように考えて決めたらいいのでしょうか？

クラブの理念や目的を会員や地域の人々に理解してもらうとともに、安定したクラブ運営を行う上で指導者はとても重要な役割を担うこととなります。謝金は、クラブが指導者に求める責任の対価と考え、金額は教室の規模等に応じて決めるべきでしょう。（清水 透）

Q7 過疎地で人や会員も集まらないクラブの財源とは？

過疎地においてスポーツだけの事業展開を考えた場合に十分な収入が見込めないことは明らかです。スポーツにこだわらず、過疎地ならではの事業展開から収益をあげていくことも必要になってくるのではないのでしょうか。 (伊達 東)

Q8 会員の理解を得られる会費値上げの方法は？

値上げの理由を伝えるために、クラブの財政状況やスポーツ原価などの数字を示して理解を求めます。事前の説明が大事です。クラブ運営やスポーツ活動をするには費用がかかることを会員に理解してもらいましょう。 (白倉香理)

【9. プログラムとイベント】

Q21 運動嫌いの子どもが楽しくできるプログラムは？

楽しいからまたやりたいと思うには、夢中になって身体を動かすこと自体が楽しいと思える経験を数多く味わわせること、また、「できそうだ」と思う技術レベルと支援で、できた喜びを感じさせること、などが大切です。 (松尾哲矢)

Q22 引きこもりがちな高齢者にクラブに参加してもらうには？

この重要な課題に対して、焦らずに、自分たちのクラブの楽しさやすばらしさをみんなで共有し、高齢者の会員の方が高齢者の会員を口コミで呼び込めるような真に「開かれた」クラブづくりを進めることです。 (浅沼道成)

【10. 事務局の仕事】

Q7 総合型クラブの活動に合った保険はありますか？

スポーツ中の事故や怪我の代表的な保険には、治療費などお見舞金的な「傷害保険」と、死亡・重大事故に金銭的償いをする「賠償責任保険」があげられます。実施種目における過去の事故事例を調べ、補償額などをカバーできる保険に入りましょう。

(谷塚 哲)

【2】総合型クラブ育成推進フォーラムが新聞に大きく掲載されました！

(北海道新聞、秋田魁新報社、茨城新聞)



◆ 1月27日北海道札幌市、2月24日秋田県秋田市、2月23日茨城県阿見町で行われた、総合型クラブ育成推進フォーラムの開催概要が、各地方新聞に大きく掲載されました。

基調講演は、橋本聖子氏（札幌）、二宮清純氏（秋田）、山本浩氏（阿見）
でした。基調講演後のパネルディスカッションも含め、大変興味深い内容
となっています。ぜひご覧ください！

▼掲載新聞記事（PDF）はこちらから▼

札幌：<http://www.japan-sports.or.jp/local/news/newsDetail.asp?newsNo=140>

秋田：<http://www.japan-sports.or.jp/local/news/newsDetail.asp?newsNo=142>

阿見：<http://www.japan-sports.or.jp/local/news/newsDetail.asp?newsNo=141>

【3】長期継続クラブにみるマネジメントの工夫

～「ピュアSC」における「パートナーシップ」、
NPO 法人ピュアスポーツクラブ（静岡県静岡市）の場合・その2～



■ピュアスポーツクラブのマネジメントの工夫を2回にわたって連載します。
ピュアSCは2000年6月に設立され8年の歴史を重ねてきました。
既存団体による総合化はせず、ゼロからスタートしました。現在、会員数約
500人のクラブになっています。

前稿では、一経営資源としての「文化」と「マネジメント」の関係と題
してまとめ、今回は、前稿をふまえて、「ピュアSC」のマネジメントに重
要な位置を占める「パートナーシップ」について触れていきます。

（松井恒二 静岡大学教育学部教授、ピュアスポーツクラブ理事長）

▼文章全文はこちらから▼

<http://www.japan-sports.or.jp/local/news/newsDetail.asp?newsNo=139>

▼NPO 法人ピュアスポーツクラブ HPはこちらから

<http://www.pure-sc.org/>

【4】「クラブ伝言板」投稿情報&掲載情報大募集！

◆イベント開催1◆ ねりま Cherry-Blossom Festa2008

3月29日（土）9時～20時（雨天時30日に順延）、無料

会場：東京都練馬区・光が丘公園芝生広場

練馬区では、6つの区立体育館を拠点に総合型クラブ（ねりまSSC）
ができました。設立5周年と練馬区独立60周年を記念して、スポーツと
音楽・アート、フリーマーケット、そして練馬区産業の目玉のアニメと、
クロスオーバーな大型イベントが開かれます。

▼詳細はこちらから

http://event.tokyo-cci.or.jp/event_detail-15095.html

◆イベント開催2◆ 第1回九州地域スポーツクラブサミット in くまもと

4月5日(土) 13時～18時30分

19時～21時 情報交換会

会場：熊本県熊本市・熊本学園大学 14号館

【テーマ】「未来に羽ばたく総合型クラブになるために」

様々なアイデアをもって成果をあげているクラブの事例を学びます。

▼詳細はこちらから

http://www.tokushima-sports.or.jp/cgi-bin/oshirase/details.cgi?onum=101&l_num=0

◆イベント開催3◆ 第2回全国芝生サミット

4月6日(日) 8時30分～15時30分

会場：熊本学園大学

●イベント2, 3の申込・問合せ先

くまもとスポ・レク振興事務局 TEL・FAX 096-232-1549

お名前、団体名、住所を明記のうえ、九州サミット(3,000円)、

芝生サミット(3,000円)(両方参加5,000円)、情報交換会

(5,000円)の出欠と、宿泊の有無について、FAXで申し込み

(21日までの期日ですので、お申込みはお早めに！)

◆「クラブ伝言板」へ情報をお寄せください！

クラブによるクラブのための情報交流「クラブ伝言板」。

全国のクラブ同士が地域を超えて交流する機会を増やしたり、様々な資源の有効活用をはかったりします。

情報の掲載申込みは毎月10日締切り、掲載は同月20日になります。

以下のページをご覧ください、注意事項をふまえて、掲載希望内容を200字以内でお寄せください。お待ちしております！

▼文章全文はこちらから▼

<http://www.japan-sports.or.jp/local/news/newsDetail.asp?newsNo=97>

【5】心に響く言葉 ～事務局が楽しくなければ長続きしない～

私自身が総合型地域スポーツクラブに係わったのは中学校現場での現状、地域の現状を知れば知るほど地域に何か残そうと考え、平成16年4月から橋南中学校区(三重県津市)に総合型地域スポーツクラブを立ち上げようと考えました。

特に総合型地域スポーツクラブ作りに必要なものはヒト・モノ・カネです。特にヒトが集まらなかったら準備委員会も立ち上げることはできません。幸いにも橋南中学校区の小学校・中学校に11年勤務していた関係上、

人脈をたよりに校区内の体育指導委員、地区体育振興会役員等に、なぜこの校区にスポーツクラブが必要かを説明し、37名の協力をいただけるようになりました。

その後、平成17年3月に「橋南スポーツクラブ」は設立をいたしました。運営に係わってくれた方たちはクラブの理念に共鳴し集まってくれました。

スタッフ全員がボランティアで活動をしてきましたが、それぞれに日々仕事をもっていたり、家庭の事情等もあり大変です。

このことから、スタッフが将来的にもクラブ運営に継続的に関わっていただけることが一番大切であると考えています。

以前に地域の方々と立ち上げた「橋南 OYAJI の会」の活動の様子を思い出し、なぜ「橋南 OYAJI の会」が長続きするのかを考えてみますと「会の趣旨がはっきりしていること」、「活動そのものを楽しんでいること」が大切であることを学びました。そのことがクラブ運営への参画を長続きする秘訣ではないかと考え、年2回は飲食会を行ったり、小旅行をしたり、普段の会議では小グループ編成の配置にしたり、時にはお菓子を食べながら行ってきています。また、教室等へのスタッフとしての参加は自分がやりたいプログラムへの参加を優先に配置するなど、楽しんでいただけるように工夫をしています。

わたし自身が橋南クラブの代表（クラブマネジャー）として、また、クラブ育成アドバイザーとして、平成19年度からは地方企画班員として、現在活動していますが、各スポーツクラブを訪問した時には必ず堅苦しくなるのではなく、楽しく参加することが運営等に協力いただける秘訣ではないかと話しています。

（片岡康行 橋南スポーツクラブ クラブマネジャー）

【6】総合型クラブ育成推進フォーラム開催報告



◆本会で開催いたしました総合型クラブ育成推進フォーラムについて、著名人による実技指導や先進クラブクラブマネジャーの講演内容をご報告します。ぜひご覧ください！

【スポーツフェスティバル in 東出雲町】

2月3日（日）於：島根県・東出雲町立総合体育館、東出雲町民会館

▼開催報告はこちらから▼

<http://www.japan-sports.or.jp/local/news/newsDetail.asp?newsNo=138>

▼メールマガジンの登録（無料）はこちらから簡単にできます。

周りの人にもぜひ登録をオススメください！

<http://www.japan-sports.or.jp/local/mail/index.html>



☆☆☆ メール配信サービスのご案内 ☆☆☆



◆メールマガジン配信停止(退会)ご希望の方は、こちらから◆

<http://www.japan-sports.or.jp/local/mail/>

※お客様のメールアドレスが変更になる場合は、上記ページで一度退会処理をされた後、再度登録手続きを行ってください。

◆当メールは送信専用で配信されており返信できません◆

Copyright (c) 2008Japan Sports Association. All rights reserved